

## 単独飼育ゾウの環境改善について

2017年12月27日

公益社団法人日本動物園水族館協会

日本動物園水族館協会 JAZA は動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護管理法）を遵守して動物本来の習性にあった飼育を実現すべく、日々、取り組んでいます。

ゾウについても、社会性の強い動物であり、個体どうしのコミュニケーションがゾウを健康に飼育するうえで大切であり、動物福祉の観点からも複数頭の飼育が肝要であると考えています。しかし、現状はゾウを単独で飼育している施設が少なからず存在しており、ご批判をお受けしています。

この現状の解決策として、私たちは、単独飼育ゾウを移動して可能な限り複数同居を進めていく所存です。しかし、長期間、単独でくらしてきたゾウを同居させることが、時にゾウに大きなストレスをもたらす結果になることも経験してきました。

そこで、ゾウの性格をみながら複数飼育を試みると共に、現在、単独でくらすゾウには、環境エンリッチメントをすすめ、飼育環境を豊かにしてゾウがいろいろな行動を自ら選択できる環境作りをすすめています。

単独飼育ゾウの飼育環境改善は個々の園館の努力だけで解決できる問題ではありません。

JAZA に組織されているゾウ会議が中心となって知恵をしばり、個々の園館と連携して環境改善に取り組んでまいります。

市民のみなさまには引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。